

KOAは、「循環」「調和」「有限」「豊かさ」を経営理念として、
循環型地域社会のモデルづくりを目指しています。



「おてんとうさま」活動の概要

KOAグループでは、「お天道様に堂々と胸を張って報告することができる活動をしよう」という想いを込めて、1997年から「おてんとうさま」(ISO14001 環境マネジメントシステム) 作戦を展開しています。KOA及び国内グループの6社、海外グループ6社の全生産拠点及び本社機能、合計13社29サイトがISO14001の登録を完了しています。

KOAグループでは、株主様、お客様、地域社会、社員・家族、地球との信頼関係の構築を企業の使命と考え、地球環境との調和を図り、これを実践する「おてんとうさま」活動を通して、製品の開発・製造・販売活動及びサービス等の多様な業務の中で、環境に調和した活動ができるように、ISO14001:2004年版に対応した活動体制の構築を行い、5つの環境指標により継続的な環境改善活動を行っています。

これらの活動では、関係するお取引様に環境活動へご協力いただくことも重要なため、KOA環境方針を弊社グリーン調達基準、ご要望文書、掲示物、配付物、ホームページ等への公開を通じて、ご理解とご協力をお願いしています。

KOA株式会社 会社概要

- 本社所在地：長野県伊那市伊那3672
- 創立：1940年3月10日
- 資本金：60億3300万円(東証・名証一部上場)
- 代表者：代表取締役社長 向山孝一
- 従業員数：1,024名(2006年4月現在)
- 事業内容：各種電子部品の設計開発・製造・販売

- 環境管理責任者：取締役 深野香代子
- ISO14001認証番号：JQA-EM0155 (1998年4月登録)
- 内容問い合わせ先：経営管理イニシアティブ
総務センター環境グループ
【TEL：0265-70-7176(直通)】
【E-mail：gac-e@koanet.co.jp】
【URL：http://www.koanet.co.jp】

出発点

どうしたら地球と調和した生き方ができるのか。

理念

KOAは信州伊那谷に生まれ、育まれてきた企業です。お百姓がお百姓として自らのふるさとで生きていけるようにとの願いで、創立しました。

電子部品の製造に携わりながらも、土と水とおてんとうさまのおつきあいのなかで学び、生きとし生けるもの一人として地球との間に信頼関係を築いていきたいと考えます。

社員一人一人が自分たちをとりまく水系の命の循環に関心をもち、「おてんとうさま」(環境マネジメントシステム)を自己責任のもと実践することで、わたしたちのふるさとに循環型社会のモデルを創造していきます。

方針

- 一、KOAは、開発・製造・販売活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確にとらえ、「おてんとうさま」(環境マネジメントシステム)を構築し、「おてんとうさま」の継続的改善及び環境汚染の予防を図る。
- 一、KOAの環境活動は、社会環境対応を「おてんとうさま」活動とし、製品環境対応を品質保証活動として展開する。
- 一、KOAの環境側面に適用可能な法規制、KOAが同意するその他の要求事項(お客様要求事項を含む)及び自主基準を順守し、環境マネジメントマニュアル・品質マニュアルを基に全社員が自然環境に配慮した行動をする。
- 一、本方針の理念に基づいて行動するため、環境に調和した業務や有限な資源の有効利用、環境負荷の少ない製品・工程、地球温暖化防止を追求し実現する環境改善活動を環境目的・目標の枠組みとして、毎年見直しをする。
- 一、環境内部監査を実施し、自主管理による「おてんとうさま」の維持向上に努める。
- 一、この環境方針は、KOA及びKOAグループにおいて、環境活動に携わる全ての人に周知し、環境意識の向上を図る。

平成17年4月1日

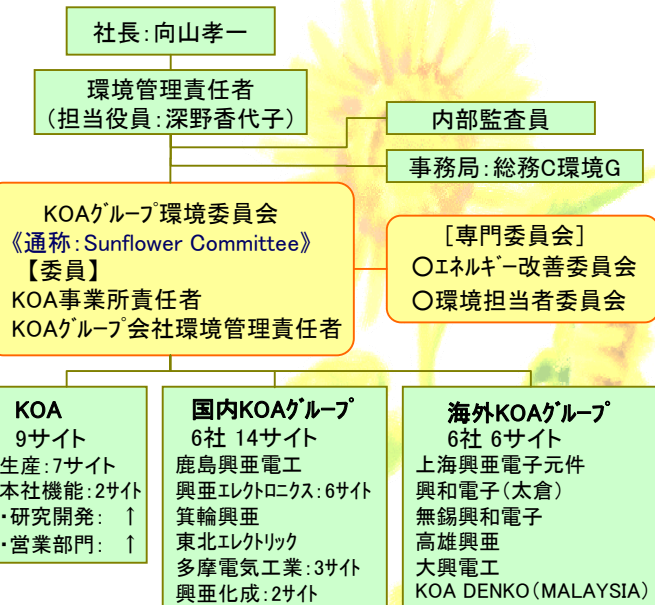
KOA株式会社 社長 向山 孝一

おてんとうさま推進体制 ～環境に調和した業務を目指した環境活動～

製品環境の活動体制

KOAグループでは、製品への有害物質含有を規制する欧州のELV指令・RoHS指令などへのお客様のご要求に確実に対応するため、製品環境の活動体制を整え、品質保証イニシアティブ品質保証センターと調達管理センターが対応しています。

社会環境の活動体制



ISO14001:2004年版に準拠した活動体制の構築

KOAグループでは、ISO14001の改訂規格である、ISO14001:2004年版に全サイト対応致しました。2004年版規格への「おてんとうさま」(環境マネジメントシステム)移行にあたり、改訂した環境方針では、間接影響(電子部品の設計・開発部門を中心に、スタッフ部門の業務の環境影響)、法令順守の取り組みを強化する姿勢を示し、中長期的に取り組む目標を明確化することで、KOAグループの環境活動の中核となる方針としています。KOAでは、環境方針の枠組みに基づき設定した5つの長期目標に注力して取り組んでおり、スタッフ部門でも、「環境に調和した業務の実現」に基づき、各部門で目標を設定し、活動を始めました。また、この見直しにあたり、全社員への改訂規格・改訂環境マニュアルの教育を徹底し、環境活動の底上げに努めました。

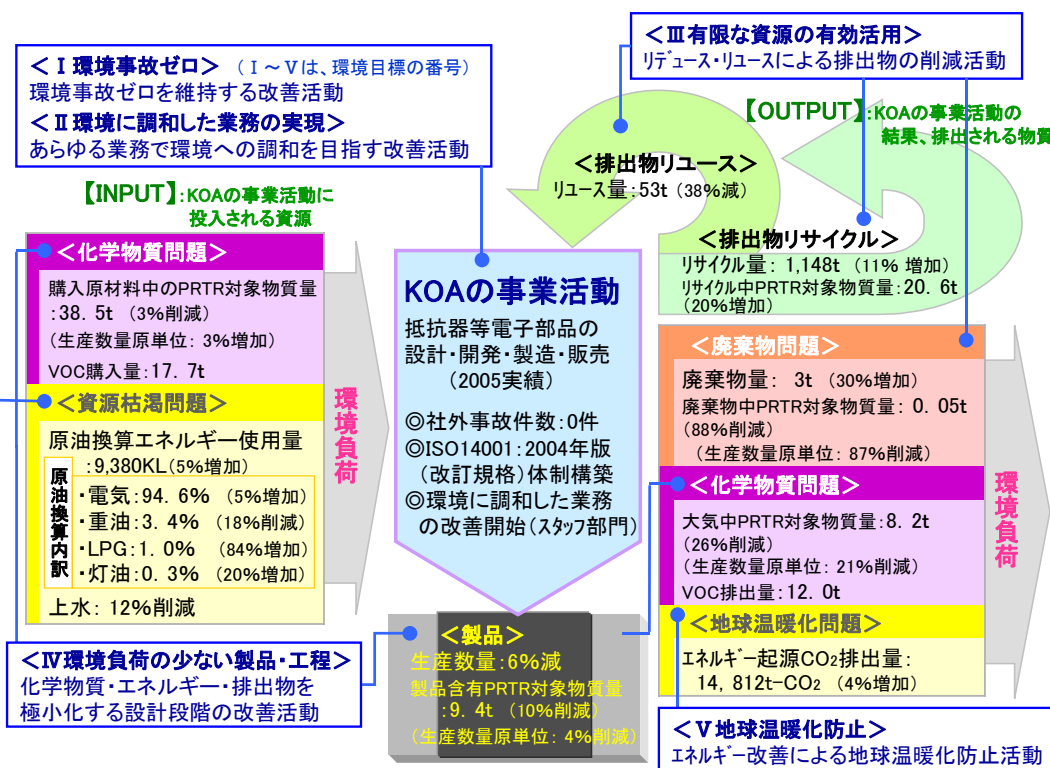
KOAグループの環境活動

KOAグループでは、「KOAグループ環境委員会」を社会環境活動の中心に置き、グループ全体での環境活動強化を図っています。また、「エネルギー改善委員会」「環境担当者委員会」を下部組織とし、機能的な運営を行っています。また、「KOA環境方針」の内容を踏まえ、各社の事業内容、環境活動状況、所在地域の周辺環境を考慮し、各社の独自性を加えた環境方針を設定し、活動しています。長期目標については、国内KOAグループでは共通の目標を持ち、環境委員会で各社・各事業所の情報を共有しながら環境改善活動を進めています。

環境負荷状況 ～KOAの環境負荷状況の前年度との比較～

KOAのマテリアルフロー(物質循環)図と環境負荷毎の対策

<記載数値は、2005年度実績、()内の%は、2004年度比>



KOA 2005年度環境負荷状況

KOAでは、排出物・廃棄物、化学物質資源の枯渇/地球温暖化及び設計・開発・製造と製品を重要な環境負荷として捉え、5つの環境指標により継続的な環境改善活動を行っています。

<化学物質>
大気汚染防止法が2006年4月1日より改正施行され、VOC規制が発効されました。KOAでは、2005年度分より、電気・電子業界で自主削減対象となるVOC 20物質の集計を始めています。

☆PRTR: 「Pollutant Release and Transfer Register」の略
化学物質管理促進(PRTR)法で規定される354物質の環境中への移動量を管理し、自主削減する努力義務があります。
☆VOC: 「Volatile Organic Compounds」揮発性有機化合物の略号で、電気・電子業界では2010年に2000年比30%削減を目標にしています。

おてんとうさま作戦(環境目的目標)の達成状況

AC	長期目標	目標値	評価	状況
I	汚染の予防(事故防止・コンプライアンス)	環境事故ゼロ: 事故ゼロのための事故予防改善を毎期1つ以上達成	◎	社外事故ゼロ件を維持し、近隣からの環境クレームもありませんでした。
II	環境に調和した業務の実現(環境影響緩和、コンプライアンス)	「事業活動の著しい環境側面」、 「(事業所別)著しい環境側面」を対象に環境影響を緩和する改善を毎期1つ以上達成	○	環境に調和した業務を目指し、多くのスタッフ部門で改善目標を設定し、継続的に環境改善活動を進めています。
III	有限な資源の有効活用(3R活動による排出物削減)	①排出物総量原単位を04年度比1%削減	×	新製品生産に伴う洗浄廃液の発生により、5%増加となりました。
		②特殊工程廃液排出量原単位を対上期比1%削減	◎	溶液長寿命化等の改善により、廃液の削減を行いました。
		③グリーン購入活動拡大を1件以上	◎	納入品の通い箱化、購入品のグリーン購入が定着しました。
IV	環境負荷の少ない製品・工程の実現	①対象とする物質の環境中排出量原単位を対'04年度比3%削減	×	PRTR対象物質の大気中排出量削減のために、副資材の変更を目標化し、改善を進めています。
		②LCAを考慮した製品・工程設計・改良の実施	△	
		③グリーン調達活動拡大、サプライチェーンのグリーン調達体制構築	◎	調達先監査を拡大し、グリーン調達体制の構築を進めています。
V	地球温暖化防止(エネルギー起源CO ₂ 排出量を2010年度に1990年度比6%削減)	①エネルギー起源CO ₂ 排出量が1990年を100とした時、2004年度130を、2010年度94に削減する具体的な計画と方法の決定を行う	◎	環境管理責任者、事業所責任者、環境担当者、エネルギー担当者の合意の下、計画を作成しました。
		②エネルギー起源CO ₂ 排出量を04年度比、5.3%削減	△	100%の達成率となりましたが、増産設備投資による目標の修正を行ったため△評価としました。

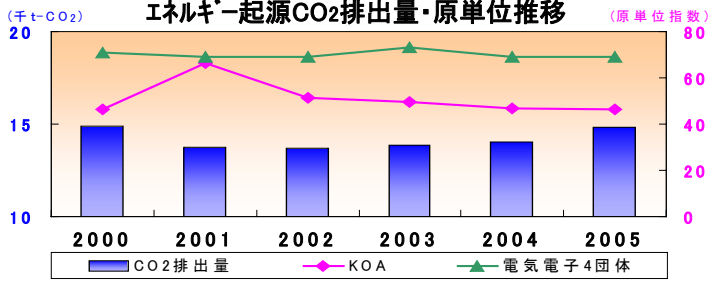
プログラムを06年度から変更

AC	2006年度目標値
I	環境事故ゼロ : 事故・環境影響(異常時・特別作業時・定常時)の予防改善を毎期1件以上達成
II	環境に調和した業務を目指す改善を毎期1件以上達成
III	ゼロエミッション総量原単位を対前年度比、1%削減
	特殊工程廃液排出量原単位を対前年度比、10%削減
IV	VOCを2005年度比、3%削減
	環境に配慮した製品・工程の設計・改良実施
V	サプライチェーンのグリーン調達体制構築
	エネルギー起源CO ₂ 排出量を対前年度比、3%削減

◎: 100%達成、○: 70%以上達成、△: 50%以上達成、×: 50%未満の達成

おてんとさま作戦の成果 ~5つの主体との信頼関係をより強く~

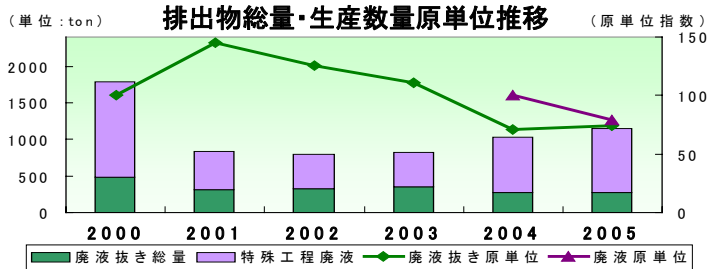
地球温暖化防止 : エネルギー起源CO₂排出量の削減



エネルギー起源CO₂排出量が4%増加

電気電子4団体の地球温暖化防止目標である「自主行動計画」の目標値(2010年度に原単位指数:75)を達成していることから、2005年度に地球温暖化防止目標を見直し、より高い目標としました。しかし新製品の生産拡大による設備増設に伴い、エネルギー起源CO₂排出量は増加となりました。今後ともユーティリティ・生産設備の省エネ改善に取り組むと共に、新規設備の増加分を最小限にする改善を進めていきます。

有限な資源の有効活用 : 排出物総量原単位の削減



特殊工程廃液21%削減、その他排出物 5%増加

2004年度から製品1個あたりの排出物削減活動を始め、オフィス古紙の循環リサイクル化、納入品包装材の通い箱化・書類の電子化・不良削減などのリユース・リデュース活動を行っています。今後、設計段階から製造工程を見直し、さらに排出物の削減を進めていく計画です。

環境負荷の少ない製品 : 環境負荷物質の削減

RoHS指令6物質の測定

KOAではRoHS指令で製品への含有が禁止されている6物質(Pb,Cd,Cr(VI),Hg,PBB,PBDE)を簡易的に分析できる装置を各生産サイトに設置し、製品管理を実施しています。

(但し、Cr(VI)は全Cr、PBB,PBDEは全Br)

材料受入検査: QCグループ及び製造が6物質の測定を行っています。

完成検査: QCグループが6物質の測定を行っています。

定期検査: 1回/年 品質保証センターが6物質の測定(詳細分析)を行っています。



これらの測定フローと判定方法、異常処理手順は、規程により明確化しています。また、簡易分析で管理値をこえた場合は、詳細分析を行い判定を行います。

コンプライアンス : 法令の順守状況

法規違反:0件

KOAでは、45の社会環境法規・要求事項を特定しています。2005年度から法令順守の内部環境監査である「順法監査」を事務局の内部環境監査員が実施することとし、より厳密に法令順守を確認しています。外部監査でも、法規違反がないことが確認されています。

社外事故:0件

社外へ影響する事故はありませんでした。尚、弊社敷地内で、産業廃棄物の廃液が保管容器から漏洩する事故がありましたが、防液堤の適切な管理を行っていたため、社外への影響を未然防止できました。

飛散性アスベストがないことを確認

2005年度KOA及びKOAグループ全事業所のアスベストの使用状況を確認し、人体に影響する飛散性アスベストが使用されていないことを確認しました。また、建物解体時の非飛散性アスベストの処理についても手順書を作成し、適正な管理体制を構築しました。

土壌状況確認 自主調査の継続

汚染リスクを把握するために2005年度も引き続き自主調査を継続しています。

地域社会とのおつきあい ~KOA森林塾・見学会でのコミュニケーション~

私たちの考える企業資産: 地域社会とのおつきあい

企業資産	人づくり	KOAグループ表彰と職人
	「おてんとさま」活動	企業活動に伴う環境負荷の低減
	森とのおつきあい	KOA森林塾
	水とのおつきあい	リサイクルシステム研究会 (財)伊那谷地域社会システム研究所
	土とのおつきあい	農的生活
地域社会	生態系の一員としての喜びと責務	リサイクルシステム研究会 (財)伊那谷地域社会システム研究所

見学会の受け入れによる地域とのコミュニケーション

2005年度に、長野県経営者協会・長野県環境保全協会主催環境保全先進企業見学会、伊那市主催環境保全推進委員見学会、伊那市環境協議会主催子供エコツアーの3件の見学会を受け入れました。

特にゼロエMISSIONの現場を見学してもらった子供たちには、環境へ取り組む意識を持ってもらう良い機会となりました。これからの未来を生きる子供たちのために綺麗な土・水・大気を保つ努力を継続することの重要性を改めて実感した見学会となりました。

子供たちや地域の企業に拡大するKOA森林塾の活動

■小学校 森林木工教室



地元の小学校でこれまで2回開催しました。学校の樹や地域の森で…葉っぱを調べて、この樹なんの樹。のこぎりで受け口・追い口、間伐体験。伐った木の幹でペン立て、枝で笛を作り、樹や森と触れ合う体験を通じて、森を守る学習を行いました。嬉々として楽しむ子供たちの姿が印象的でした。この小学校での森林木工教室では、子供たちの樹や森に対する「なぜ?なに?」を応援しています。

■企業向け森林塾



地元の企業と共に3年間、チェーンソーの使い方や間伐、ぶり縄で樹に登り枝打ち、薪割りなどの実務を体験していただくと共に、木工教室では間伐材でイスを製作したり、ご家族には枝で笛を作ってもらい、山での作業を楽しみながら、もう一度地元の里山を見つめ直してもらう機会を提供することができました。

KOA森林塾では、所有林での出張森林塾や森林講義の出前講座なども承っております。お気軽にお問合せください。